

令和 6 年度長野県農業大学校外部評価会議ご意見・ご提言

長野県農業大学校

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
		総 括	○就農率は、45.9%と低下したが、多面的な農業を支える人財創出に対する尽力はできている。 ○評価項目に沿って、評価の観点からの的確に成果と課題が整理されていた。
教育活動	学習指導	授業実習内容の充実	○資格取得は自発行動が必須、その動機付けが課題と認識した。 ○農業経営については、ヒト・モノ・カネ・情報を含めた経営の視点と連関させていく。特にプロジェクト学習では、労働時間を比較させるなど労働生産性の把握が重要なので取り組みの徹底をお願いする。 ○高校時の探究活動で取り組んだ課題を、2年次のプロジェクトに生かせるよう整備願いたい。
	生活指導	基本的生活習慣の育成 自他の人権を尊重する精神を養う	○評価表のとおり
	進路指導	個々に適した進路選択 円滑な就農推進	○長野県農業を担う人材育成に対し重要な役割を担っている。引き続き、農業大学校としての役割を果たしていただきたい。 ○就農・就職支援については、関係団体との情報共有を引き続きお願いする。 ○県内には卒業後農業で自立を目指す者を支援する制度もあるので、活用されたい。
学校運営	農大魅力発信と学生確保活動	学生募集のPRを更に充実する	○志願倍率が1.0を下回ったので、引き続き受験生の確保に努めていただきたい。 ○農大を知っていただくきっかけとして、専業農家だけでなく、幅広く兼業農家をはじめ農業に従事している人へのPRも必要ではないか。兼業農家の子弟や孫世代が農大へ進学する可能性もある。
その他			○農業大学校のあり方について、農業高校から一貫した教育となるよう検討願いたい。